

単元名

みんなで防災！しっかり守ろう安登の町～災害から安登を守るんジャー～

	男子	9名	女子	5名
さつき学級1組	男子	1名	女子	1名
さつき学級2組			女子	1名
			計	17名

### 1 単元のデザイン

#### 単元について

- 本単元は本校が「総合的な学習の時間の全体計画」で定める「目標（2）地域の人、もの、ことの中から問いを見出し、その解決に向けて仮説を立てたり、調査して得た情報を基に考えたりする力を身に付けるとともに、考えたことを、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付ける。」を指導するために設定されたものである。自分たちが住んでいる地域の危険箇所を調べたり、豪雨災害から身を守るための知識を学んだりしたことを、防災マップにまとめ、安登小学校の児童や保護者に発信していく活動を行う単元である。
- 課題意識をもち、取り組んでいくことにより、防災に必要な知識を身に付けるとともに、自ら見通しを立てて課題解決に取り組む、収集した情報を整理・分析し、目的に合わせて効果的に表現する力ことで、本校で目指す資質・能力を育むことができる。

#### 児童の実態

- 本学級の児童は、実際に豪雨災害を経験した児童はおらず、豪雨災害の恐ろしさを理解し、身を守るための知識を身に付けている児童は少ないと考えられる。
- また、総合的な学習の時間において、探究活動を行い、収集した情報を整理・分析しまとめ、表現する活動は初めてである。学習に関するアンケートを実施したところ、「情報を調べること・情報をまとめること・まとめたことを発表すること」が好きと回答する児童は過半数を占める。しかし、発表する方法が「分からない」と回答する児童は17人と全員であった。

#### パフォーマンス課題について

- 本単元では、安登の地域別の防災マップを作り、調べて分かった防災情報を保護者へ発信するというパフォーマンス課題を設定した。この課題を設定することにより、今後起きるかもしれない豪雨による土砂災害に対する防災意識を育成することが期待できる。また、調べて分かった防災情報のうち、各地域や保護者等が必要と想定される情報を選択し、伝わりやすいように発表内容を考えて発表することで思考力、判断力、表現力が育成されると考える。

#### 思考を深める指導のポイント

- 土砂災害の被害を受けた理由を考えながら情報収集を行うことにより、防災の観点をもち、得た情報を分類しながらマップにまとめることができるようにする。また、地域調査や資料等から得た防災情報を吟味させる指導を行うことにより、保護者に防災の意識をもってもらうようにする。さらに、その際には目的に合った情報を比較し選択することができるようにする。

### 2 単元の目標

- ・情報を比較するとともに、成果と課題、利点と欠点などに分類して地域の実態と関連付けることができる。  
【知識及び技能】
- ・集めた情報の中から地域で必要とされていることをつかんで、情報を選択し、相手意識をもって表現することができる。  
【思考力、判断力、表現力等】
- ・安登小の児童や保護者に防災に関して得た情報を伝えるという目標に向けて、粘り強くやり抜くことができる。  
【学びに向かう力、人間性等】
- ・安登のために活動されている防災リーダーの方々に感謝する心をもち、防災のために役立ちたいという意欲をもつことができる。  
【学びに向かう力、人間性等】

### 3 単元の評価規準

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	①避難の際に気をつけることや日ごろから防災のために備えておくべきことを理解している。	①集めた情報の中から地域で必要とされていることをつかんで、情報を選択し、相手意識をもって表現している。	①安登小の児童や保護者に防災に関して得た情報を伝えるという目標に向けて、粘り強くやり抜こうとしている。 ②安登のために活動されている防災リーダーの方々に感謝する心をもち、防災のために役立ちたいという意欲をもって活動しようとしている。

#### 4 単元計画（全25時間）

次	時	学習内容	評価規準（評価方法）		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
一	1	パフォーマンス課題を設定し、学習課題を立てる。			
二	2	避難の際に知っておくと良さそうなものを話し合い、自分たちで学習の計画を立てる。		○思①（発言）	
	3	地域調査を行うための計画を立てたり、準備を行ったりする。			○態①（行動観察，発言）
	4・5	防災リーダーや自治会長と担当地域を巡り、大雨が降った際の危険箇所を調査する。			◎態②（発言，行動観察，ワークシート）
	6・7・8	地域調査で分かった情報を比較することで防災マップに載せる情報を選択し、マップを作成する。 比較する		◎思①（行動観察，防災マップ）	
	9	学校に備蓄されている防災グッズを調べる。 防災グッズが何の役に立つのか，仲間分けをする。 分類する	○知①（行動観察，ワークシート）		
	10・11	防災のための冊子「マイ・タイムライン」を使い，避難レベルや土砂災害の種類について調べる。	○知①（行動観察，ワークシート）		
	12	避難時に知っておくと良い持ち物を，防災リュックを使って調べる。 防災グッズが何の役に立つのか，仲間分けをする。 分類する	○知①（行動観察，ワークシート）		
	13	実際に避難をされた方から話を聞き，避難時や避難後に困ったことを知る。	○知①（行動観察，ワークシート）		
三	14（本時）	これまでに集めた防災情報を比較し，防災マップでまとめた地域ごとで保護者に伝える情報を選ぶ。 比較する		◎思①（ワークシート，行動観察，発言）	

15		発表の構成や内容の詳細を考え、発表資料をつくる。		○思①（ワークシート，行動観察，発言）	
16・17		発表内容の構成を確認しながら発表練習を行う。		○思①（ワークシート，行動観察，発言）	
18		防災リーダーや友達に発表を見てもらい，アドバイスをもらって発表内容の見直しをする。		○思①（ワークシート，行動観察，発言）	
19・20		発表内容を改善し，発表練習をする。		○思①（ワークシート，行動観察，発言）	
21・22		各グループで発表する内容をクラスで共有し，発表練習の仕上げをする。 関連付ける			○態①（行動観察）
23		発表会のリハーサルをする。			◎態①（行動観察）
24	<b>実行</b>	パフォーマンス課題に取り組む。 ・防災マップづくりで分かった防災情報を安登小のみんなや保護者が分かりやすいように伝える。		◎思①（パフォーマンス課題）	○態②（行動観察）
25	<b>振り返り</b>	学習を振り返り，評価する。	◎知①（発言，振り返り）		

※指導に生かす評価を行う代表的な機会については「○」を，その中で特に学級全員の児童の学習状況について総括の資料にするために記録に残す評価を行う機会には「◎」を付けている。

## 5 本時の学習（本時 14 / 25）

### （1）本時の目標

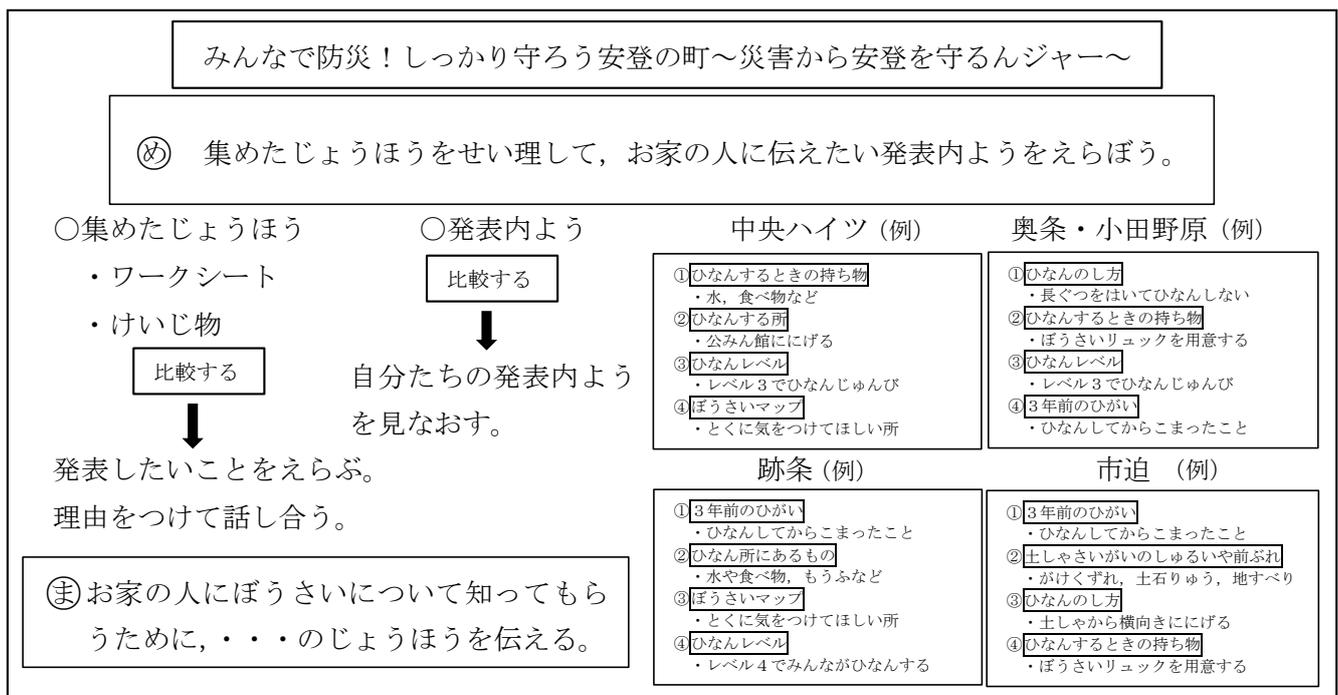
これまでに集めた防災情報を整理し、防災マップでまとめた地域ごとで保護者に伝えたい情報を選ぶことができる。 【思考・判断・表現】

### （2）学習の流れ

	学習活動 (○主な発問・予想される児童の反応)	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
つかむ	1 前回までの活動を振り返り、本時の学習が、パフォーマンス課題とどうつながっているかを知る。  2 課題を見付ける。  3 めあてをつかむ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>パフォーマンス課題とのつながりを確認する。身近な人に防災について知ってもらうために学習発表会で防災マップを発表することについて見通しをもたせる。</li> <li>これまでに集めた防災情報をワークシートや掲示物をもとに見直し、そこからどの情報を伝えるべきなのかということについて課題意識をもたせる。</li> </ul>	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">             集めたじょうほうをせいりして、お家の人に伝えたい発表内ようをえらぼう。           </div>		
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px; background-color: #e0e0e0;"> <b>学び合い①自分の考えをもつ</b> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px; background-color: #e0e0e0;"> <b>学び合い②比較しながら思考する</b> </div> </div>		
考える	4 地域のグループに分かれ、これまでに集めた情報を整理して、保護者に伝えたい情報を選ぶ。 <u>比較する</u> ○今までに集めた防災情報をくらべて、お家の人に伝えたい発表内容を選ぼう。 <ul style="list-style-type: none"> <li>この危険な場所は近くに坂があって土砂がたくさん流れてくるかもしれないから防災マップを発表内容に入れたらいいと思う。</li> <li>避難するときは持ち物が大切だから、持ち物の情報を伝えたらいいと思う。</li> <li>お家の人に安全に避難してほしいから、避難の仕方について伝えたいな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発表の時間等を考えて、入れる内容が多くなりすぎないようにする。</li> <li>教室内に掲示している、これまでに集めた情報の掲示物や学習してきたワークシートを見させることで、発表内容にする情報を選べるようにする。</li> <li>発表内容にする情報を選ぶ際、「なぜその情報を選んだのか」という理由を付けて話し合いをさせることで、目的に合った情報を選べるようにする。</li> <li>次時の構成につながるように、伝えたい順に発表内容を並べさせる。</li> </ul>	集めた情報の中から地域で必要とされていることをつかんで、情報を選択している。 <b>【思①】</b> （ワークシート，行動観察，発言）
深める	<b>学び合い③考えを広げたり深めたりする</b> 5 全体で発表内容を共有し、各グループで発表内容の見直しをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>話し合いで選んだ発表内容や伝えたい順について、理由を付けて発表させることで、発表内容を見直す際に考える材料となるようにする。</li> </ul>	

振り返る	6 本時の学習を各グループでまとめる。	
	お家の人にぼうさいについて知ってもらうために、・・・のじょうほうを伝える。	
	7 学習の振り返りを行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループで考えたことをもとに本時の学習を自分なりの言葉でまとめさせる。</li> <li>パフォーマンス課題と関連付け、身近な人に防災について知ってもらうための情報を選ぶことができたかどうかを振り返る。</li> </ul>

## 6 板書計画



## 7 成果と課題

本単元で目指す児童の姿を「課題解決に向けて見通しをもち、収集した情報を関係付けながら整理・分析し、目的に合わせて分かりやすく表現している。また、安登小学校の防災のために役立ちたいという意識をもって友達や地域の防災リーダーの方と協働しながら課題をよりよく解決しようとしている。」とした。

本単元で育成を目指す資質・能力のうち、特に「思考・判断・表現」について、成果と課題を述べる。

収集した情報を関係付けながら整理・分析する活動では、土砂災害から身を守るために収集した情報を本校の「思考の型」である「比較・分類・関連付ける」を用いて整理していった。児童は、「地域の危ないところを比べたら、この場所に気をつけた方が良さそうだね。」と情報を比較したり、「3年前の豪雨災害では水がなくなって困ったと教えてもらったから、避難するときには水を多めに持って避難したらいいね。」とゲストティーチャーの話と関連付けて避難時の持ち物を考えたりすることができていた。

また、調べた情報を伝える保護者や防災リーダーの方々が分かりやすいように発表をすることを目的として取り組んだ。自分たちが発表する様子を撮影した映像を見て確認すると、グループの仲間で発表方法を工夫しようと考え、フリップを準備したり、防災グッズの実物を準備したりする等、目的に合わせて分かりやすく表現しようとする姿が見られた。

これらの児童の姿は、本単元の評価規準のうち、「思考・判断・表現」で設定した「集めた情報の中から地域で必要とされていることをつかんで、情報を選択し、相手意識をもって表現している。」に合致するものであると考える。

単元全体の学習活動を振り返ると、「お家の人や地域の人に、地域の危ないところを知らせたい」と、防災のために役立ちたいという意識をもち、課題解決に向けて学習する児童の姿が多く見られた。

また、学習発表会本番では、「災害から安登を守るんジャー」になり、全体や各地区に向けて安全マップを説明したり防災グッズや土砂災害の種類を紹介したりしていった。発表を終えた後、単元の振り返りアンケートを実施したところ、「お家の人やほかの人たちに、地域のここが危険ということを知らせようと感じました。」「お家の人や、危険な場所がよく分かるような情報を選ぶことができました。」「土砂災害がどんなに危険なものなのかをくわしく、分かりやすく伝えたいと感じました。」などという記述が見られた。

これらの記述から、児童は、避難の際に気をつけることや日ごろから防災のために備えておくべきことを理解（資質・能力「知識・技能」）しており、防災のために役立ちたいという意欲をもって（資質・能力「主体的に学習に取り組む態度」）防災情報を保護者や防災リーダーの方々に伝えようとしていたことが分かった。

課題としては、集めた情報の中から必要とされているものを選択することができなかった児童がいた。今後は、例えば「災害から自分や家族の命を守るためには、特にどんなことを知っておいたらよいか」などと問いかけ、児童に情報を選択する視点を与えていく。また、発表を見ていただく保護者や防災リーダーの方々を意識して練習や発表することはできていたが、見ている人が分かりやすい表現方法を考えることが難しく、仲間に指示されたように表現することしかできなかった児童もいた。今後は、表現方法を考える際にグループで実際に発表を見合い、分かりやすいか、またよりよい方法はないかアドバイスを伝え合う活動を仕組んでいく。

